

# いつもわたしのそばに

仙台教区 金 暁子



みなさんは毎週日曜の朝は何をしていますか？私は娘たちと一緒にテレビでプリキュアを見ています。プリキュアとは、中学生の女の子たちがプリキュアという戦士に変身して地球征服をもくろむ悪の組織と戦いながら、成長していく姿を描いたアニメシリーズです。毎年新しいテーマで放送されていますが、昨年の「HUGっとプリキュア」は私が想像していたものと少し違いました。正義を振りかざし、戦って敵を排除するのではなく、相手に耳を傾け、寄り添おうとする姿が描かれていたことに驚きました。1年の放送の中で、

敵味方関係なく色々な人がそれぞれに苦しみ、挫折し、そこから立ち上がったいく物語がたくさんありましたが、苦しみの中にいる人が再発する時はいつも誰か周りの人が「あなたが好き」と、そばにいたいということが感動的でした。

新美南吉さんの『でんでんむしのかなしみ』という童話があります。上皇後の美智子さまが子どもの頃に出会われ、ずっと大切にされている本として紹介されています。ある時、でんでんむしは自分の背中の殻につまった悲しみの大きさに気がつき、「もう生きていけない」と嘆きます。お友だちのでんでんむしにその話をすると、「自分もそうだ」と言います。他のお友だちもそうでした。そして、でんでんむしは悲しみを背負っているのは自分だけではないと気がつき、自分も自分の悲しみを引き受けて生きていこうとするという内容です。

どんなに幸せそうに見える人にも、悲しみ・苦しみはあります。たとえ同じ経験をして、感じ方はいろいろで、悲しいと思う人もいれば、気にならな

## 子どもたちと聞く法話

い人もいるでしょう。私たちの悲しみ・苦しみは縁によって大きくなったり小さくなったりします。たとえ順調に生きていくようにも、なんとなく不安になることや、ふとした空しさを感じることはないでしょうか。

ほとけさまは「私の名前を呼んでください」と私たちにいつでも呼びかけてくれています。私たちが「なんまんだぶつ」と念仏したら、そばで寄り添ってくれる親友になれるのです。親鸞聖人が書かれたご和讃にこのようなものがあります。

他力の信心つるひとを

うやまいおおきによろこば

すなわちわが親友ぞと

教主世尊はほめたもつ

(正像末和讃)

「お念仏で私の名前を呼んでくれたら、もう親友だよ」とおっしゃっています。親友だから私たちが悲しい時はほとけさまも一緒に悲しんで、嬉しい時は一緒に喜んでくれるのです。どんな時も、「なんまんだぶつ」と呼んだら、そこにお浄土の世界が広がっているのです。その世界にふれたら、私は「もう一人ほったじゃない」と、そのままの私を引き受けていけそうな気がします。私が幼かった頃、私の祖母はいつでもどこでも「なんまんだぶ

まんだぶ」とよく称えていました。布団やお風呂やトイレの中からでも祖母のお念仏の音がしていたものです。いつでも、どこでも、一人でも、誰やでも、ほとけさまをおもって「なんまんだぶつ」と称えたらお念仏になります。

今日は最後に、ここに集まったみんなと一緒に声に出してお念仏しましょう。

### 連ちゃん通信 その②

## NEW 東本願寺キャラクターの子ども会出席カード

東本願寺キャラクターの出席カードが誕生しました。これからの夏休みシーズン、お寺の子ども会などでぜひご活用ください。カードは青少幼年センターのホームページからプリントアウトしてご利用ください。

詳しくは、

